



学校だより9月号

令和5年8月31日

横浜市立六つ川小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawa/>

学校教育目標

自らがやき 友とかがやき かがやく未来を創る六つ川の子
(地域を愛し、主体的に考え行動する人を育てます。)

主体的に考える

校長 鐘江 ミサ

ようやく、学校に子どもたちが帰ってきました。初日は暑さも少し和らぎ、子どもたちの声が響いていました。静かだった学校に、命が宿ったようです。

この夏は、大変気温が高く日差しも強く、夏休みといっても、なかなかレジャーに出かけることも難しいご家庭もあったのではないのでしょうか。私も出かけることはせず、久しぶりに会う友人と過ごす程度で、休日は家族と静かに過ごしました。六つ川地区の自治会が催す夏祭りにはいくつか行かせていただき、子どもたちと会うことができました。関係者の皆様には、子どもたちのためにと、お祭りを企画していただき、暑い中ご準備いただきましてありがとうございます。秋祭りとして、これから予定されている自治会もあると伺っております。本当にありがとうございます。

この8月は、神奈川県代表の慶應義塾高等学校が、甲子園で優勝しました。代表になったことは聞いていましたが、よもや決勝まで進むとは思っていない方もいらっしゃったのではないのでしょうか。勝ち進んでいくうちに、報道で伝えられる慶應野球部の様子は、私が夢中で応援していた頃のスパルタ野球部とは違う、明らかに自由で明るく、かつ自分たちで考えながら楽しんで野球をやっていました。今、アメリカで活躍する大谷翔平選手が体现していることを、野球部として見せてもらったように感じました。森林監督は、選手の起用や交代も選手と相談するそうです。それが全国優勝へとつながったことは素晴らしいと思います。森林監督が、現在小学校3年生の担任というのも親近感をもちました。(小学校で担任をしながら高校野球部を指導しているとのことです。)上から指示されるのではない部活動は、なんと高校生を生き生きとさせるのだろうと感動しました。

横浜市でも、「自ら学び、社会とつながり ともに未来を創る人」を目指しており、本校も、地域を愛し、主体的に考え行動する人を育てることを掲げております。自ら学んでいくためには、実際に自分で主体的に学んだ経験がなければできません。社会とつながるためには、今、一緒に過ごす仲間と共に、磨き合う経験が必要です。学校教育目標をもとに、各学年各学級で、子どもたちと担任が考えた学級目標が教室に掲示されています。お互いの輝きを認め合いながら、自分たちで考えて生き生きと学習や活動に取り組む子どもたちを育てていきたいと思っております。

初日に、6年生が東京見学のグループ分けを自分たちで考える姿や細部にこだわったドールハウスを作って自由研究として解説する姿、算数「水のかさ」の学習で、先生の問いを超えて、一人の発言からみんなで考える姿を見ることができました。子どもたちは、毎日自分たちで考えて、行動したり発信したりしています。私たちは、それをしっかり受けとめて共有し、それを生かして深い学びにするべく努力していきます。今月もご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

残暑が厳しくなるとの報道がされております。先日、メール配信させていただきましたが、まずは、熱中症対策を最優先に、教育活動を進めたいと思っております。ご家庭でも、体調第一で、登校のご判断をしていただきますようお願い申し上げます。

